

福音メッセージ ベルゼブル論争

マルコの福音書 3章 20～35節 【新改訳改訂第3版】

- 20 イエスが家に戻られると、また大ぜいの人が集まって来たので、みなは食事する暇もなかった。
- 21 イエスの身内の者たちが聞いて、イエスを連れ戻しに出て来た。
「気が狂ったのだ」と言う人たちがいたからである。
- 22 また、エルサレムから下って来た律法学者たちも、「彼は、ベルゼブルに取りつかれている」と言い
「悪霊どものかしらによって、悪霊どもを追い出しているのだ」とも言った。
- 23 そこでイエスは彼らをそばに呼んで、たとえによって話された。
「サタンがどうしてサタンを追い出せましょう。」
- 24 もし国が内部で分裂したら、その国は立ち行きません。
- 25 また、家が内輪もめをしたら、家は立ち行きません。
- 26 サタンも、もし内輪の争いが起こって分裂していれば、立ち行くことができないで滅びます。
- 27 確かに、強い人の家に押し入って家財を略奪するには、
まずその強い人を縛り上げなければなりません。そのあとでその家を略奪できるのです。
- 28 まことに、あなたがたに告げます。人はその犯すどんな罪も赦していただけます。
また、神をけがすことを言っても、それはみな赦していただけます。
- 29 しかし、聖霊をけがす者はだれでも、永遠に赦されず、とこしえの罪に定められます。」
- 30 このように言われたのは、彼らが、「イエスは、汚れた霊につかれている」と言っていたからである。
- 31 さて、イエスの母と兄弟たちが来て、外に立っていて、人をやり、イエスを呼ばせた。
- 32 大ぜいの人イエスを囲んですわっていたが、
「ご覧なさい。あなたのお母さんと兄弟たちが、外であなたをたずねています」と言った。
- 33 すると、イエスは彼らに答えて言われた。
「わたしの母とはだれのことですか。また、兄弟たちとはだれのことですか。」
- 34 そして、自分の回りにすわっている人たちを見回して言われた。
「ご覧なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。」
- 35 神のみこころを行う人はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。」

ベルゼブル論争

(マルコの福音書3:20~3:35)

2016年10月2日

I イエスの並外れた言動:「イエスは気が狂った」

- (1) 気が狂ったと思ったので連れ戻しにきた (ナザレからカペナウムへ) 21節
- (2) 母と弟たちが(心配のあまり)捜しに来た 32節
- (3) 郷里(ナザレ)での不信 6:1~5

イエスはそこを去って、郷里に行かれた。弟子たちもついて行った。安息日になったとき、会堂で教え始められた。それを聞いた多くの人々は(仰天して言い出した)。「(こいつ)は、こういうことをどこから得たの(か)。(こいつ)に与えられた知恵や(こいつ)の手で行われる

このような力あるわざは、いったい何(だ)。(こいつ)は(大工職人ではないか)。マリヤの子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟では(ないか)。その妹たちも、(俺たちのもとにいるではないか)」。こうして彼らはイエスにつまずいた(=信頼をおくことができなかった)。 ※ () は岩波訳による置き換え



(4) この記事から読み取れること

- ✧ イエスは気が狂った、としか思えないことを継続的に言った。
 - ✧ 身内の者たちは危機感をもった(それほど大それた主張)
 - ✧ しかし、その話は英知に満ち、真正の奇跡がなされているのを認めないわけにはいかなかった
 - ✧ マリヤや、イエスの弟や妹たちとはあまりに違うので不可解
- ✧ 聖書が事実を一切割れせず、そのままに記すことは ①驚くべきことであり ②その信憑性を確かにしている。
- 《例》父祖アブラハムの失敗(妻サラをパロの後宮に入れてまで自分の安全をはかる)
ダビデ王と部下の妻(バテシェバ)との姦淫を赤裸々に記す
イエスの一番弟子ペテロがイエスを裏切ったことが四福音書すべてで詳細に語られる

II ベルゼブル論争

(1) エルサレムから下ってきた律法学者たち:イエスが何者なのかを調べ、報告する任務

- ① 律法(特にモーセ五書)の研究、写本製作、教え、注解に携わった学者
- ② サンヘドリン(ユダヤ教の最高議会)を代表して来ていた可能性がある

(2) 律法学者の結論

- ① イエスは、悪霊のかしらベルゼブルによって人々から悪霊を追い出している
- ② イエスは汚れた霊に憑かれている
- ③ したがって、イエスの言うことなどに耳を貸してはならない。それは悪魔の教えである!

✧ そう言う彼らも、イエスが悪霊を追い出した事実は認めていた!

(3) イエスの反論

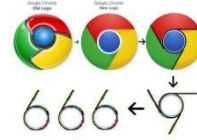
- ① サタン(H「神に反対する者」)の国も内輪もめしては立ち行かない。
- ② ゆえに、悪霊を追い出した、ということは、イエスが悪霊どもを制圧した、ということである。
- ③ 聖霊のわざを悪霊のものとするようでは、その人の罪は永遠に赦されることがない



III. 現代の文化と悪霊

(1) 思わぬところにある悪魔のシンボル(サブリミナル・メッセージ)

- ① エンターテインメントに
- ② 日常生活に
- ③ 政治に (フリーメイソン)
- ④ 教育に (公教育から聖書追放、ニューエイジ受容)
- ⑤ 宗教に



グーグル・クロムのロゴ

(2) 悪魔とは

空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊 (エペソ 2:2)
世全体は悪い者の支配下にある (1ヨハネ 5:



ギリシャ神話に登場する二つの尾を持つ人魚「セイレーン」

(3) イエスは悪魔よりはるかに強い

確かに、強い人の家に押し入って家財を略奪するには、まずその強い人を縛り上げなければなりません。そのあとでその家を略奪できるのです。(マルコ 3:27)



山羊の頭をもつ悪魔、バフォメット (フリーメイソンで礼拝される)

神は、私たちが暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。この御子のうちにあって、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。(コロサイ 1:13,14)

(4) イエスに信頼をおき、従う者は神の家族

神のみこころを行う人はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。(マルコ 3:35)

彼らはイエスに言った。「私たちは、神のわざを行うために、何をすべきでしょうか。」
イエスは答えて言われた。「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」 (ヨハネ 6:28,29)